

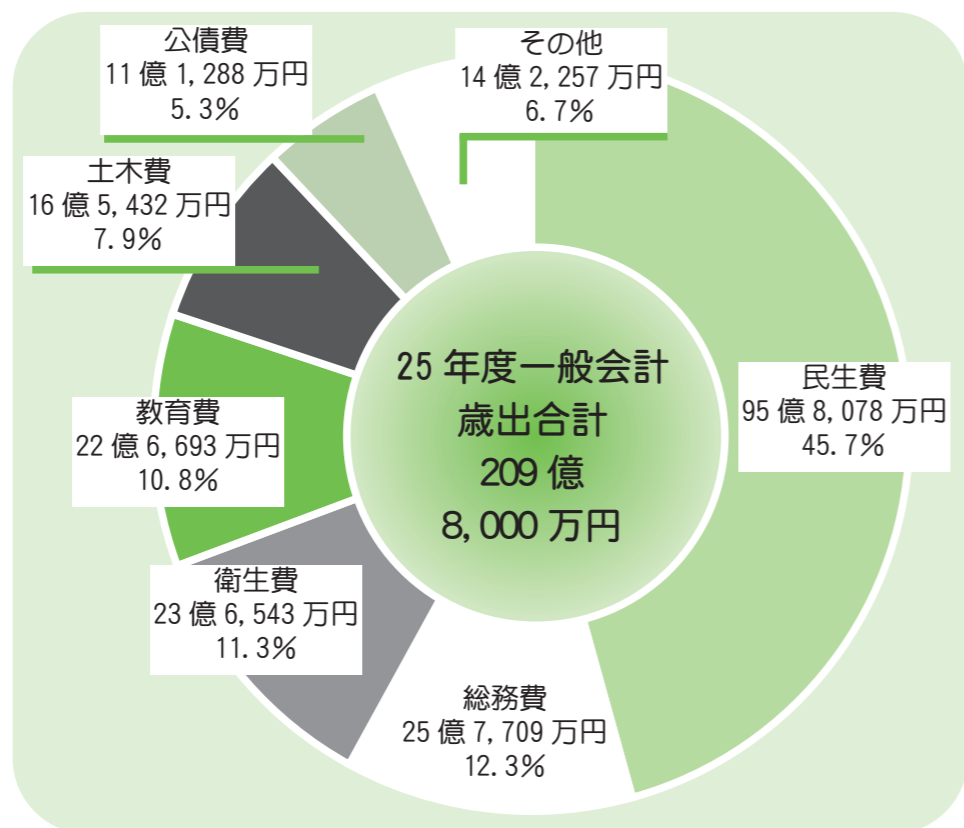
# 平成25年度予算

一般会計は昨年度+11億円

平成25年度羽村市  
一般会計等予算審査特別委員会

## を可決しました

### 一般会計予算の歳出



### ■教育費 22億6,693万円

学校教育や文化・スポーツの振興のための予算

25年度の特徴的な支出

- 国民体育大会の開催とスポーツの推進 5401万円
- 羽村市史の編さん 784万円

#### Q & A

**Q** 青少年スポーツ文化活動等補助金に小学校の課外クラブ活動は該当するか。

**A** 高校生以下が全国規模の大会に出場した場合に補助をする制度で、部活動は除かれる。小学校の課外クラブ活動は、音楽活動等の中で補助をしているので該当しない。

### ■民生費 95億8,078万円

高齢の方や障害のある方、保育などの福祉の充実のための予算

25年度の特徴的な支出

- 子ども・子育て支援事業計画の策定 448万円
- 民間保育所施設整備事業 1億9049万円
- 民生委員・児童委員(社会福祉委員)体制の充実 1206万円

#### Q & A

**Q** 学童クラブの開所時間が午後7時まで延長になるが、申込みはどのくらいあるか。

**A** 現在6件の申込みがある。学童クラブ利用者の15%程度の希望があると見込んでいる。

**Q** 生活保護における就労支援に向けた新年度の取り組みは。

**A** ハローワークとの連携による就労支援プログラム、就労支援員の雇用による支援プログラム、ケースワーカーによる援助プログラム等を活用し、積極的に就労支援に努めていきたい。

**Q** 障害者(児)シヨートステイ委託の内容は。

**A** 居宅で障害のある方を介護する方が、病気等の場合に利用できるシヨートステイ。東京小児療育病院にベッドを200日分確保している。

### ■総務費 25億7,709万円

コミュニティの振興や行政運営のための予算

25年度の特徴的な支出

- 庁舎耐震改修等工事 4億5855万円
- 住民情報システムの開発と稼働 7966万円

#### Q & A

**Q** 小作駅東口周辺に街頭防犯カメラを設置するが、プライバシーの保護に対する配慮や住民説明はどうするのか。

**A** 住民説明は4月に小作駅東口周辺の会館で行う予定。町内会の回覧や広報はむら等での周知も行う。映像確認用のモニター類はなく、犯罪捜査のため警察等へ映像の提供をすることがある。映像データは個人情報に該当するので、個人情報保護条例と防犯カメラ設置運用要綱で対応する。

**Q** 庁舎の照明の間引きやエレベーターを止める等の省エネ効果は。

**A** 個々の対策による効果額は把握していないが、全体として、電気の使用量が20%、電気代にして13%の減となった。今後も効果を検証しながら実施していく。

**Q** 住民情報システムに、データセンターを活用したクラウド化によるパッケージシステムを導入することによる効果額は。

**A** 新システムは26年1月スタートの予定。経費的には、29年度には、移行経費が回収できる試算をしている。

### ■衛生費 23億6,543万円

市民の健康を守ることやごみの処理などのための予算

25年度の特徴的な支出

- 富士見霊園の拡張工事 8770万円

#### Q & A

**Q** PM2.5の測定について市として対策をとっていくか。

**A** 東京都が、多摩地区では23か所程度の測定を行うので、その結果などを見ながら今後市としても対応を検討する。現在のところ25年度予算には計上していない。

**Q** 生ごみ処理容器の助成でどのくらいのごみを減らせるか。

**A** 130世帯が1年間使い続けることで28トンのごみ減量(燃やせるごみの0.3%)につながると想定している。

平成25年度予算案は、議長を除く16人の議員で構成される平成25年度羽村市一般会計等予算審査特別委員会(委員長:水野義裕議員、副委員長:濱中俊男議員)において、3月8日~3月12日の3日間にわたり慎重な審査を行った結果、7会計の予算をすべて原案のとおり可決しました。

予算審査特別委員会の審査結果は3月18日の本会議に報告。一般会計については修正案が出されましたが否決となり、7会計の予算は原案のとおり可決しました。

### 25年度の一般会計予算。使い道は...

平成25年度一般会計予算は209億8千万円で、前年度と比較して11億円、5.5%の増額となりました。庁舎耐震改修等工事や富士見霊園拡張等整備事業など、防災・都市基盤整備の充実を図るための普通建設事業費が伸びたことなどが主な要因です。その概要と委員会での質疑の一部を合わせてご紹介します。

※質問と答弁は要約しています。

# 一般会計予算に対する意見

一般会計予算原案に対しては賛成の立場から4人の委員が、反対の立場から3人の委員が以下のとおり意見を述べました。(意見は要約しています。)

一般会計予算原案は、本会議での採決により、原案のとおり可決されました

## 賛成

防災・防犯・市内スポーツの発展に重点が置かれている

平成25年度羽村市一般会計予算は近隣自治体の多くが前年度と比較してマイナス予算となる中、前年度と比較して11億円増という積極予算が組まれた。デフレが続く市内の景気にもかかわらず見られる中、思い切った予算となっている。その財源としては市税が約1億円強増加が見込まれる他は、財政調整基金の繰り入れ、臨時財政対策債の活用など、厳しい予算編成となっている。

また本年は福祉・子育ての分野の重要な計画策定の年でもあり、羽村市の未来を見据えた施策が望まれる。防災・防犯に重点が置かれ、国体の成功とその機を利用した、市内スポーツのさらなる発展を目指す点が評価できる。執行に当たっては、経常収支比率90%前半に向けて全庁一丸となつてあたられることを望み、賛成する。

## 賛成

必要性・緊急性・有効性の視点から編成されている

本予算は第五次長期総合計画の2年目にあたり、限られた財源をより効果の高い施策に重点的に配分し、必要性、緊急性、有効性の視点から編成されており評価できる。歳入面では、市民税を昨年度より1・1%上回る見込みとしているが、自主財源は50%を超えるよう、一層の努力を期待する。経常収支については90%前半の目標を掲げたことは評価でき、市債や財政調整基金等を有効に活用していることが確認できる。

歳出については、市庁舎の耐震化を図るなど、各種重要施策に重点配分している。羽村駅駅舎通路拡幅事業への足掛かりとして、基地周辺整備調整交付金6千万円を3年間基金として財源確保を図っていることは評価できる。行財政改革による効果額は2千300万円となっているが、さらに行財政改革を進める努力を願い、賛成する。

## 賛成

限られた財源を積極的に予算化している

平成25年度は「第五次羽村市長期総合計画」の2か年目にあたり、計画を具体的かつ着実に実施していくために、計画に掲げた事業を優先的に予算化するとともに、将来を見据え、これからのまちづくりの柱となる5つの施策に関して、限られた財源を有効に活用し、積極的に予算化

## 賛成

限られた財源をより効果的に配分している

限られた財源をより効果的に配分し、基本目標に掲げた事業の達成に努めているものと思われる。「防災・減災」「命を守る福祉や健康」「子ども子育ての充実」「教育改革」「景気・雇用・地域活性化等の推進」事業が展開される今年度の予算執行に

## 反対

特定団体への補助は見直すべき

厳しい財政状況での予算案であることは理解する。要望の多かった図書館雑誌購入費の復活、太陽光発電や生ごみ処理機購入補助などは循環型社会に向けた施策として評価する。

一方、市施設の薄暗いロビーやエレベーター停止など利用者にとって不便を強いている。節電額を検証し、再検討すべきである。また区画整理土地権利者の会補助金など特定団体への補助はゼロベースで見直すべきである。今までに区画整理事業用地購入費は40億円。行財政改革の効果額31億円に比べ、いかに無駄かがよくわかる。よって予算案に反対する。

## 反対

将来世代に負担を先送りした予算

平成25年度一般会計は、臨時財政対策債7億2千万円、庁舎耐震改修や富士見霊園拡張工事などに2億1千600万円を借金し、基金の取り崩しが13億1千200万円にもなっている。普通建設費は12億円で、24年度にくらべ2倍に膨らんでいる。羽村駅西口区画整理には、3億800万円が

## 反対

問題点をもつ予算案

- ①羽村駅西口土地区画整理事業推進に関する経費
  - ②非正規職員に対する特別手当の削減
  - ③入学資金利子補給金は十分に利用されていない。
- など、問題点をもつ予算案であり、反対する。



▲平成25年度羽村市一般会計等予算審査特別委員会の様子